

歴史 の風

ふくおか 文化財たより

Vol.32 2021年4月

大濠公園の歴史

これから新緑の季節を迎え運動や
アートも楽しめる人気の場所が大濠公園です。
そこに隠された意外な？歴史を紹介します。



大濠公園は、福岡城の西側に広がっていた「大堀」を公園や
住宅地として整備する過程で、昭和2年に開かれた東亜勧業
博覧会の会場となりました。公園の堀部分は国の登録記念物
です。堀にかかる5つの橋の内、4つは当時の姿を残しており、
福岡市の登録有形文化財です。



観月橋



観月橋の親柱
「昭和二年三月竣工」

大濠公園 うき み どう 浮見堂

大濠公園の濠に突き出して建てられている六角形のお堂（浮見堂）も福岡市の登録有形文化財です。もともと何のために建てられたかご存じですか？



大濠公園の「浮見堂」

実は、以前、東公園にあった動物園の施設を保存するために移築されたものです。施設はオットセイなどの海獣（かいじゅう）を見るための建物でした。

昭和19（1944）年に動物園は閉鎖し、戦後の昭和24（1949）年に現在地に移築され、平成26（2014）年に文化財に登録されました。



東公園動植物園

出典 『福岡近代絵巻』、福岡市博物館、2009

～ 上品な甘さとさっぱりした後味 ～

幻の甘味料 「甘葛（あまづら）」

甘葛は奈良・平安時代に好まれた甘味料で、『枕草子』^{まくらのそうし}「あてなるもの(上品で雅なもの)^{みやび}」の段に、けずった氷に甘葛をかけたものが登場します。貴族でもなかなか口にできない贅沢品^{ぜいたくひん}で、鴻臚館に滞在した外国使節も食べたかもしれません。一般的にはブドウ科のツル性植物（写真①）の樹液を煮詰めたもの^{じゅ えき}とされますが、砂糖の普及とともに、江戸時代には原材料や作り方も忘れ去られた、幻の味です。



写真① ツタ



写真② ツタの切り口に袋をかぶせて振り回す

現在では、樹液に糖分がたくわえられる冬にツタを短く切り、ひもを通してブンブン振り回したり（写真②）、切り口から息をフ



袋にたまった樹液を取る

吹き込んで樹液を取る方法が編み出されています。その樹液を10分の1程度まで煮詰めてできあがります。スプーン一杯の甘葛を得るためには、大変な労力が必要です。古代の人々はどんな方法を用いたのでしょうか。

～ 発掘調査 記録技術の今昔 ～

出土品を測る

発掘調査によって発見された土器や遺物は図面や写真として記録されます。古くは江戸時代中期の国学者である青柳種信^{あお やぎ たね のぶ}が、糸島市^{みく も みなみしやう じ}の三雲南小路遺跡から出土した青銅器を「図面」^{せい どう き}として記録しました。現在も出土した土器や石器の記録は「実測図」として作成されますが、最新の技術ではデジタル画像から立体的なデータを作成することが可能となっています。実測図という平面では表現できない土器の立体的な特徴や色合いを手軽に再現し、記録として残すことができるようになりました。青柳先生が見たらきっとビックリしてしまうでしょうね。これからも記録・保存の技術はまだまだ進化が続くようです。



▲写真



▲実測図

重留古墳群H群1号墳(拝塚古墳)出土 人物埴輪

デジタル立体データは出土品を360度くるくる回して見られます

見ることができます



自在に

自由

いろいろな角度から

～ 埋蔵文化財センターだより ～

考古学出前講座！人気の遺物は？

埋蔵文化財センターでは、主に小学生を対象に考古学出前講座を実施しています。毎年、学校や公民館など50施設ほど、およそ4,000人の子どもたちに福岡市の歴史やみじかな遺跡についてのお話をしてきました。火起こしや古代の鏡の^{ちゅうそう}鑄造体験、考古学の仕事を体験できるプログラムなどを用意しています。出前授業では、それぞれの

校区の出土品を持っていき、歴史を直接感じてもらうことを大切にしています。子どもたちが喜びそうな、また、見てわかる遺物を選んでいきます。

今回は、令和2年度人気ナンバーワンの遺物を紹介します！小さな滑石の破片に、人面が彫ってあります。子どもたちは、「モアイ像だ！」

と言って喜んでいます。また、触ってみると滑石特有の滑らかさがあって、それも新鮮！

誰が何のために作ったのでしょうか？昔も子どもたちに人気があったオモチャだったかも！？



▲住吉神社遺跡第3次調査

滑石製石鍋の把手破片を転用し、両面に人面を彫る。縦4.9cm。

福岡市埋蔵文化財センター ホームページ

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html/>



--福岡市博物館からのお知らせ

特別展「ミイラ『永遠の命』を求めて」

期間：4月10日（土）～6月27日（日）

場所：早良区百道浜3丁目1-1 休館：月曜

※最新の情報はQRコードよりご確認ください。

<http://museum.city.fukuoka.jp/>



--埋蔵文化財センターからのお知らせ

保存処理成果展『甦る出土遺物』

埋蔵文化財センターでは、遺跡から発見された出土品のうち、木材や金属などの劣化のおそれがあるものについて、理化学的な処理を行っています。今回の企画展は、保存処理の成果を紹介するものです。

期間：令和3年2月23日（祝）～令和3年5月9日（日）

場所：博多区井相田2-1-94 休館：月曜

--「福岡市民俗芸能公演」動画配信のお知らせ

3月13日（土）になみきホールにて開催した「福岡市民俗芸能公演—中世の舞と響き—」の動画を公開します。動画には、出演5団体の代表者へのインタビュー映像なども含まれます。各団体が、どんな思いで日頃伝承を続けているのかということに触れていただける内容です。ぜひともご覧ください。

国指定重要無形民俗文化財 **幸若舞**（みやま市）

県指定無形民俗文化財 **竹の曲**（太宰府市）

県指定無形民俗文化財 **志賀海神社神幸祭の芸能**（福岡市東区）

国指定重要無形民俗文化財 **感応楽**（豊前市）

国指定重要無形民俗文化財 **博多松囃子稚児舞**（福岡市博多区）

※右のQRコードを読み込み、動画をご覧ください。

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/keizai/bunsei/charm/minzokugeinoukouen.html>



福岡市経済観光文化局文化財活用部

住所：福岡市中央区天神 1-8-1

TEL: 092-711-4666 FAX: 092-733-5537

文化財の保存・管理・活用に関すること

文化財活用課

TEL:092-711-4666

史跡の整備・活用に関すること

史跡整備活用課

TEL:092-711-4784

埋蔵文化財の発掘調査・手続きに関すること

埋蔵文化財課

TEL:092-711-4667

埋蔵文化財の収蔵・保管・分析に関すること

埋蔵文化財センター

TEL:092-571-2921

ホームページ 福岡市の文化財

<https://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/>

Facebook「福岡市の文化財」でも情報発信中！

